

星
ほし

宙
ぞら

通
つう

信
しん

2024
6月

浪合パーク
2024.5.17発行
#1

6月10日が入梅ですが、梅雨入りが気になるところです。
新月は6日、上弦が14日、満月が22日となります。

6月の注目すべき天文現象は13Pオルバース彗星の動向です。この彗星は70年ほどの周期で楕円軌道を描きながら太陽を周回しています。

太陽に一番近づく「近日点通過」は6月30日で、6月下旬から7月にかけて太陽への接近と共に明るくなり、ぎょしゃ座からやまねこ座へと移動しながら3等星台にまで明るくなると期待されています。

6月下旬から7月初旬にかけて、午後8時頃、高度20度ほどの北西の空に見られるでしょう。双眼鏡がおすすめです、肉眼でもチャレンジしてみましょう！

6月の夜空

- 6 (木) 新月
- 10 (月) 入梅
- 14 (金) 上弦
- 21 (金) 夏至
- 22 (土) 満月
- 27 (木) 月が土星に大接近
- 29 (土) 下弦
- 30 (日) 13Pオルバース彗星が近日点通過



記事を書いた人

星空案内人 川手俊美



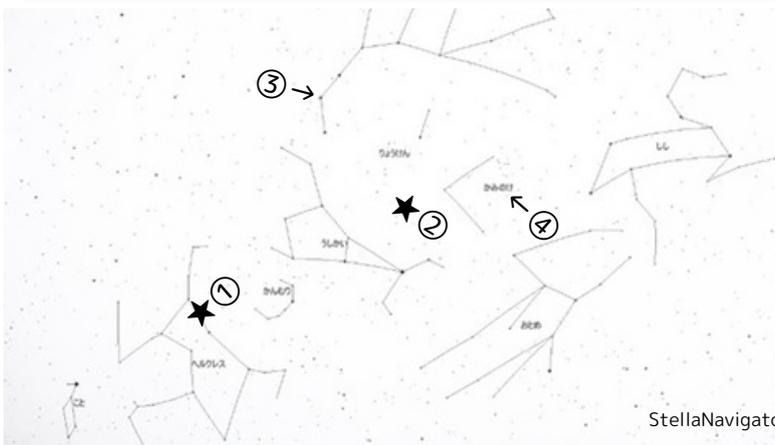
星空案内人認定制度により、2015年に「星空案内人」となる。飯田市美術博物館プラネタリウム解説員として5年、阿智村「天空の楽園 ヘブンスそのはら」にて星空ガイドを6年担当。わかりやすい解説、もっと星を見たくなる、知りたくなる星空ガイドを心がける。小さな天文学者の会会員。長野県プラネタリウム連絡協議会会員。

浪合パークで見つけてみよう！



天体		どんな天体？	肉眼	双眼鏡	望遠鏡
M1 ①	球状星団	ヘルクレス座にある星団。夏の星座ですが、東の空に早々と上がってきます。大きな球状星団で見つけやすい天体のひとつです。	×	△	◎
M3 ②	球状星団	北斗七星の曲がった柄の裏側にある、りょうけん座のひとつ星、ゴル・カロリとアルクトゥールスの間にあります。	×	△	◎
ミザール ③	二重星	北斗七星の「柄」の端から二番目の星。くっつくようにアルコルがありまのが有名ですが、ミザール自体が「二重星」です！	△	○	◎
かみのけ座 ④	星座	しし座、おとめ座、おおぐま座、りょうけん座、うしかい座に囲まれた「空白地帯」に見えますが、星が集まった不思議空間です。	◎	◎	×
オルバース彗星⑤	彗星	6月末から7月にかけて太陽に近づくため明るくなることが期待されています。肉眼で見られるか確かめてみたい天体です。	△	◎	◎

オルバース彗星⑤は日没後の北西の空を見てみよう！



StellaNavigator/アストロアーツ

